



# こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net>♥Eメール address [info@oikawahp.net](mailto:info@oikawahp.net)

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 36 2016年1月 発行

## 基本理念

及川病院のめざすこと、その役割と大切なこと

### 親切

私たちは親切な対応とわかりやすい説明を心がけ、患者様の身になって行動しています。

### 信頼

私たちは患者様の一日も早い回復、社会復帰を願い、信頼され心の通い合う医療に努めています。

### 専門

私たちは、乳癌医療及び緩和医療を担う専門病院として、専門的な知識や技術を集結したチーム医療を実践します。

### 進歩

私たちは常に新しい医療とそれを取り巻く環境を学び、より優れた医療の提供を目指し進歩し続けます。

新年明けましておめでとうございます。

皆様にとりまして幸多き1年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

今年の仕事始めの朝礼の席で、私はスタッフに「今年は、及川病院の理念である4つのS、『親切・信頼・専門・進歩』を初心に帰って実行していきましょう」と訓示しました。

『親切』であるということは、相手の立場に立って行動し、言葉を発すること。しかし相手の方が「親切にしてもらった」と感じるためには、双方にコミュニケーションが成り立ってなければなりません。それは『信頼』関係と置き換えられるかもしれません。

『信頼』は簡単に得られるものではありません。軽々しい言葉だけでは通じないものです。私たち医療者は、正しい知識や技術に裏付けされてこそ相手の方の信頼を得られるものでしょう。

『専門』者であることです。

『専門』者として『信頼』を持ってもらうためには日々の努力が必要です。知識を身に付けなければなりませんし、技術も磨かなければならぬ。医師に限らず病院に勤めるすべての職種に言えることです。世の中は常に新しいことが生まれています。

『進歩』しています。

『進歩』している周りに遅れないように、自分自身も常に勉強し向上していかなければなりません。自分も『進歩』していかなければならないのです。

そうやって『進歩』していくからこそ『専門』



といえる、『専門』であるからこそ『信頼』を得ることができる、『信頼』されているがゆえに本当に『親切』な行動がとれて喜んで頂ける。

及川病院の理念は、ひとつの輪を創るように繋がっているものだと考えています。

初心に帰るということは『ゼロ』になることではありません。積み上げてきたものの上に、次の一步を踏み出す時にその方向で良いのか考えてみることではないかと思えます。

私たちは4つのSに常に立ち返りながら、前に進んでまいります。

## 新任医師紹介



セカンドオピニオン外来  
大野 真司

<学会・認定>  
日本外科学会指導医  
日本乳癌学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医

はじめまして。2000年から15年間勤務した九州がんセンターを離れ、2015年4月よりがん研有明病院乳腺センターで乳がん診療に携わっています。

がん研有明病院は1907年に設立された日本で最も歴史のあるがん専門病院です。

我が国で最も多くの乳がん手術を行っており、乳がん手術の総計はまもなく30,000例となります。乳腺センターには26名の外科医と内科医がいて、毎日カンファレンスで年間1,000例を超える症例の治療方針を検討しています。

がん研有明病院で得た知識や経験を九州の乳がん患者さんのお役に立てることができればと考え、月に一度土曜日にセカンドオピニオン外来を開催しております。

どうぞよろしく願いいたします。

## 2015年ボジョレーヌーボーの夕べ

今年も及川病院恒例のボジョレーヌーボーの夕べを催しました。ガーデンにはイルミネーションが輝き、談話室には温かなキャンドルの光が灯され、プロジェクターでフランスの映画を放映し、普段の談話室とは一味違ったおしゃれな空間でした。

お菓子やオードブル、紅茶などをご用意して皆様をおもてなしして、乳腺病棟ではほとんどの患者様にご参加頂き、患者様同士の交流も深まったようです。不安な入院生活の中、ほっと一息ついて頂くことができたなら…というスタッフの思いが込められたボジョレーヌーボーの夕べでした。



## 2015年クリスマス会・緩和ケアコンサート

12月5日恒例のクリスマス会が緩和ケア病棟にて行われました。今年は例年になく暖かな冬となり、“もう、クリスマス会?!”の声も聞かれましたが病棟内は既にクリスマス飾りで準備万端。稲光医師のサンタクロースもプレゼントを抱えて無事到着。外国人ボランティア（AFWJ）の方の歌のプレゼントや栄養部からのクリスマスケーキなどで患者様・ご家族・病棟スタッフ一緒に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



そしてその翌週はムーゼンクランツ福岡少年少女合唱団のボランティア訪問があり、澄み切った歌声と笑顔に皆、魅了されました。可愛らしい手作りのタペストリーも頂き、皆さん早速病室に飾られていました。学校や習い事の合間を縫っての練習、本番直前までのリハーサルをこなされ、毎年訪問して下さることにスタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。早くも来年の訪問が楽しみです。



外国人ボランティア  
AFWJの皆さん



ムーゼンクランツ福岡  
少年少女合唱団の皆さん

## 消防訓練

当院は年2回消防訓練を行っています。

消防設備点検専門業者の指導の下、消防設備の仕組みと、火災時の対応等を再度確認し消火器を使っての実習も行います。消防訓練の中でも救助袋を使用した降下訓練は、高い所から降りていきますので、緊張感十分です。院長も率先して毎回訓練参加しています。

日頃より火の扱いには充分注意して、火災を起こさないよう努めてまいります。



## 乳がん検診無料クーポン券

当院は乳がん検診指定医療機関です

(福岡市以外にお住まいの方は→無料クーポン券が使用できる医療機関が市区町村によって異なる場合があります。詳しくは、お住まいの市区町村にお問い合わせください。)

がん検診無料クーポン券の有効期限は

**2015年7月1日から2016年3月31日までです。**

(有効期限はお住まいの市区町村によって異なります。お手元のクーポン券に記入されてある期限をご確認下さい。)

### ■乳がん検診無料クーポン券対象者

- (1) 40歳の人 昭和49年4月2日~昭和50年4月1日生まれ
- (2) 平成21年度~25年度に福岡市が実施する乳がん検診を受診したことがない下記の人

年齢	生年月日
42歳	昭和47(1972)年4月2日~昭和48(1973)年4月1日
47歳	昭和42(1967)年4月2日~昭和43(1968)年4月1日
52歳	昭和37(1962)年4月2日~昭和38(1963)年4月1日
57歳	昭和32(1957)年4月2日~昭和33(1958)年4月1日

※当院は完全予約制となっております。現在大変混み合っておりますので、お早目のご予約をお願い致します。

3) PAM50の再発リスク (ROR : risk of recurrence)

最近、注目されるようになったPAM50 (Predictor Analysis of Microarray 50) はホルマリン固定した検体のRNAから50の遺伝子を測定し、サブタイプを決定し、また、再発リスク (ROR) を低、中等度、高度リスクの3種類に分けます。

ER陽性の閉経後乳癌患者に対するアロマターゼ阻害剤とタモキシフェンの無作為化比較試験であるATAC試験の1,017例において、オンコタイプDXのRS、ROR、IHC4法 (ER、PgR、HER2、Ki-67の免疫組織化学的測定) の予後因子としての能力を比較しました。RORは他の方法に比べて予後をより正確に予測しました。全患者で、RORとIHC4はほぼ同様の予後予測能を示したが、HER2陰性/リンパ節転移陰性群ではRORが優れていました。

ER陽性、リンパ節転移陰性の乳癌患者でRORはRSよりも予後の予測に優れ、中間リスク群と高リスク群の区別に優れていた。この結果は他の研究でも確認されました。ABC SG-8試験 (ER陽性の閉経後乳癌患者に対するタモキシフェンまたはタモキシフェン→アロマターゼ阻害剤の比較であり、化学療法は付加されていない) の1,478例の解析で、RORスコアはすべてのサブタイプにおいて、臨床病理学的因子以上に、10年無遠隔転移率に関して、低、中等度、高度リスク群を明瞭に区別しました。これらの2つの試験の統合解析で、リンパ節転移陽性乳癌でも、また、術後5~10年の晩期再発のリスクを正確に予測しました。その他、数種類の多遺伝子シグニチャーによる乳癌の再発のリスクを予測し、術後補助療法を選択する方法が数種類開発されています。

これらの多遺伝子シグニチャー解析により、ひとりひとりの再発のリスクを予測し、ホルモン療法に化学療法を加えるか、ホルモン療法単独でよいかを事前に予知することができるかと主張されています。重要なことは、毒性のある抗癌剤を使用しないですむ患者さんを見つけられることでしょう。

これらの分子生物学的マーカーは、欧米では盛んに利用されています。米国では、これまでの臨床病理学的検査に基づいた術後補助療法の決定が、オンコタイプDXのRS検査結果により変更され、約3割の患者が化学療法を使用しないで済んだという報告があります。

わが国でもオンコタイプDX (エスアールエル) やマンマプリント (DNAチップ研究所) は利用可能であるが、健康保険で認められておらず (IHC4法は認められています)、大変高価です。さらに、これらの方法自体がまだ不完全の部分があり、精度を上げるための試験が進行中です。

現在、わが国では免疫組織化学的に測定したIHC4法 (ER、PgR、HER2、Ki-67) により、予後の予測と術後補助療法の選択が行われています。

次回からは、それぞれの患者様の乳癌の情報に基づいて、最適の術後の全身治療を選択する方法を述べます。